

令和元年度「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催



〔式辞〕 ○山田局長



〔挨拶〕 ○久和会長



〔来賓祝辞〕 ○山田 修路参議院議員 ○中西 吉明石川県副知事

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）及び北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）は、令和元年6月3日（月）に金沢市内のホテル金沢において、情報通信関係者約200名のご列席のもと、令和元年度「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催しました。

式典では、山田 和晴 局長が「革新的な技術やイノベーションが先導する社会である Society5.0の実現と、Society5.0に対応した活力あるICT（情報通信技術）による地域づくりを目指すため、AI、IoT、5G、4K・8K放送やロボティクスなどの革新的な技術が、様々な分野に展開され、あらゆる分野で利用されるよう努力する」と式辞を述べました。

その後、久和 進 北陸情報通信協議会会長が「Society5.0時代には、どこからでも世界につながり、どこにいても高度なサービスを受けられ、地方でも豊かな暮らしを実現することが重要であり、地方こそ自然や人情に恵まれ、真に豊かな暮らしを実現できるのかもしれない。北陸においてもSociety5.0を是非実現したい。」と挨拶しました。

続いて来賓祝辞として、山田 修路 参議院議員（前総務大臣政務官）、中西 吉明 石川県副知事からご祝辞をいただきました。

表彰では、北陸総合通信局長表彰として、電波の利用や情報通信の発展に功績のあった4個人・3団体に対して表彰状の授与を行い、電波の利用や情報通信の発展に協力及び支援をいただいた8個人・7団体に対して感謝状の贈呈を行いました。

また、北陸情報通信協議会会長表彰として、情報通信の普及・発展等に関して多大な功績のあった3個人・3団体に対して表彰状の授与を行いました。



○北陸総合通信局長表彰・北陸情報通信協議会会長表彰を受けられた皆さま



○受賞した福井県立坂井高等学校
電気・情報システム科電気コースの2年生の皆さん
同校は、平成27年度及び平成30年度の電気・情報システム科電気コースの一年生全員が第二級陸上特殊無線技士及び第二級海上特殊無線技士の国家試験に合格し、地域の電波利用の人材育成に多大な貢献をされました

※受賞者及び功績はこちらの報道資料をご覧ください。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2019/pre190529-1.html>

問い合わせ先：総務部総務課
076-233-4410